



安藤眼科医院

ANDOEYECLINIC

Annual Report 2011

医療法人社団 安藤眼科医院

<http://www.andoganka.com>

info@andoganka.com



2011年12月17日 医療法人社団 安藤眼科医院 忘年会 於：報徳会館

安藤眼科医院

〒258-0003

神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 995-1

TEL 0465-83-4545

安藤眼科医院小田原クリニック

〒250-0862

神奈川県小田原市成田 168

TEL 0465-38-0344

2011年ANNUAL REPORTをお届け申し上げます

安藤眼科医院 院長 安藤 浩



ごあいさつ

猛暑の2011年夏を乗り切ったと思っていたら、あっというまに冬になり、新年を迎える季節になりました。昨年もたくさんの先生方、企業、人々にお世話になりました。2011年を振り返りたいと思います。

大震災

昨年の前半は東日本大震災がありました。被災者の皆様に心からのお見舞いと、応援をしたいと思います。安藤眼科医院では、とても幸運なことに人的被害はありませんでした。しかし、手術室顕微鏡 Zeiss 社製 LumeraT、網膜光凝固装置等の重量級のいくつかの機器が倒れたり移動したりしており、地震の激しさを物語っていました。

地震津波被災者支援の一環として、眼科手術開業医の会で、眼鏡を集めて被災地に送る運動がありました。安藤眼科医院もこれに参加し、合計 138 個の眼鏡を集めて、木村眼科クリニック・木村肇二郎先生にお送りしました。また、被災直後の復興作業に必要なはずの、マスク 960 枚とソフトサンティア 1,080 本といくつかの日用家電をお送りしました。木村先生とのメールの中で、今回の震災のすさまじさを改めて感じ、また、木村眼科クリニック様が被災者への支援拠点となって活動されていることが分かり、とても感銘を受け、勉強をさせていただきました。木村眼科クリニック様は本当に大変な1年だったと思います。神奈川県にいる私たちにできることが何かないか、今でも考え続けています。

安藤眼科医院の近くには「松田国府津断層」という巨大地震に直結する有力な断層があります。機械類の固定、被災した際の患者さんとスタッフの安全確保、迅速な避難と帰宅避難不可能者の見極め、帰宅不能者に対する支援、公的支援とのすりあわせと、今回の地震以前と以降では考え方自体を変えなければいけないことが多く、次々とマニュアルを作成しつつ考察が続いています。

収穫期

2011年は2010年に行った出来事の収穫期として充実した時でした。デジタルカルテ、医療連携、その他もろもろの、一昨年から開始したいくつかの企画が安定した軌道に乗り始めました。

デジタルカルテに、手術管理システムを拡充

デジタルカルテに、2011年に入って手術管理システムが拡充されました。手術管理システムは、内眼手術の適応になった方々に手術計画を立て、術前術後診療を行うための作業を、安全確実に管理する目的のシステムです。これによって、診療を受ける人々に分かりやすい説明を確実にできるようになり、医療事務の簡略化が可能になりました。

デジタルカルテ担当係と、デジタルカルテを使う安藤眼科スタッフ全体、そしてニデック様のご協力で、デジタルカルテは、日々磨きをかけています。診療時間はデジタルカルテ導入当初より統計学的に有意に短縮しました。データの蓄積と検索がしやすくなったことで、医師の判断に対するデジタルならではのサポートを行えるようになりました。これにより、マイノリティー症例の診療を比較検討できるようになり、通常診療の均質化を図れるようにもなりました。毎週金曜日に医師5名で行われる症例検討は白熱し、予定時刻を超えてしまうこともしばしば起こります。医師個人としては大変うれしい知的興奮を伴う出来事ですが、院長の立場としては、その後の診療を待つ患者さん達や事務の負担を考えると頭の痛い問題です。

デジタルカルテに、医療連携を統合

2010年から開始していた医療連携室とデジタルカルテを統合運用できるようになりました。これによって、それぞれの患者様がどのような経緯で安藤眼科医院を受診され、紹介元の先生方との連携がしっかりととれているか、一元管理できるようになりました。

5名の常勤医師体制の安定

安藤浩、安藤展代、江口亮、石川暢子、高木智恵子の、5名の常勤医師が責任を持てる体制が安定しました。問診記録に長大な既往歴家族歴が並ぶ、石川先生の外来は大人気です。江口先生と高木先生は、白内障手術を安心して任せられるようになりました。近隣の先生方からの紹介でいらした手術症例は、私安藤浩と、名誉院長安藤展代のどちらかが手術を行っていますが、独自に来院された方の手術は原則として初診担当医に任せられる体制になりました。安藤展代と私は、当然の協力体制をとりつつ楽しいライバルでもあり、どちらがより洗練された手術方法を取るか、日々研鑽を重ねています。

近視矯正手術のバリエーション- ICL 左右眼の比較

ICLを開始してしばらくして、ついに、片眼ICL、片眼LASIKを選択する症例に当たりました。0.5Dの乱視を残し、裸眼視力はわずかにLASIK眼が優れているにもかかわらず、術後の問診では、「ICL眼の視力が心地よい」との感想でした。これから安藤眼科医院にも導入予定のFemtosecond Laser System +Custom LASIKにより両屈折矯正手術の優先順位は再考慮予定ですが、いずれにしても、複数の屈折矯正手術の手段を持つ意義が端的に表れた、嬉しい症例でした。

残念な

残念なことに、2011年に計画していた安藤眼科医院移転拡充計画(移動距離約500m、建物面積3倍に増加、駐車場完備の計画)は、春先の地主さまの突然のきまぐれにより、頓挫してしまいました。非常に悔しく残念な結果でした。人の意思決定心理とはとても難しく、誠意をもって接したつもりでも合理的選択が行われないこともあるという、大きな教訓を残してくれた出来事でした。また、院長業務として若輩の私としては、これからたくさん起きるであろう交渉事の、予行練習と考えさせていただくことにしました。

出産ラッシュ

私ごとではありますが、2011年の3月に娘の帆乃風が生まれ、元気な大騒ぎを繰り広げています。同時に、安藤眼科医院のスタッフも結婚と懐妊、出産が相次ぎ、公私ともに、その他業務とは別の忙しさを迎えられました。それぞれの幸せな新生活、無事な誕生と成長を祈りたいと思います。

2012年の抱負

新しい分院の開設

安藤眼科医院 南足柄クリニックを2012年2月2日に開院する運びとなりました。安藤眼科医院には、南足柄市とその周辺地域からたくさんの方々が診療にいらしていただきます。患者様の利便性を図るには、南足柄のほぼ中心となる、大雄山線大雄山駅近接に新院開設がもっとも望ましいとの考えに至り、2011年秋から準備を開始し、大雄山駅前に南足柄クリニックを開設する運びになりました。詳しい経緯は、また次回のAnnual Reportにご報告できることと思いますが、位置関係としては、新しくできる南足柄クリニックと、松田本院、小田原クリニックを線で結ぶと1辺を7km程度の正三角形を描くことになりました。安定した、堅実、誠実な医療を今後とも心がけたいと決意を新たにしています。

結び

2011年は、2010年から継続した企画がいくつも実を結び、単一年ではなく、複数年にわたる視点や、努力の継続が必要なことをとても強く感じた一年でした。長期にわたって安定した医療を地域に提供させていただくには、安藤眼科医院スタッフの努力が必要です。そして、近隣の先生方、遠隔地の先生方や、多くの企業の方々に長い間にわたって御理解やご協力をいただいているからこそ、それらの努力が実を結ぶと思っております。あらためて、皆様のご理解に感謝し、これからのご協力をお願いしたいと思う1年でした。

これからも、安藤眼科医院を温かく見守っていただけますように、よろしくお願い申し上げます。

屈折矯正の楽しみ

安藤眼科医院 名誉院長 安藤 展代

私が屈折矯正に興味を持ったのは自分に老眼が始まり、メガネが無いと不便を感じるようになった時でした。それまでメガネやコンタクトレンズを使っている方を診てもいかに疲れない処方をするか、目の健康に良い使い方をどのように指導するかということしか考えませんでした。メガネやコンタクトレンズを使うこと自体は不思議にも思わなかったわけです。自分がメガネをかけてみてメガネがいかに煩わしいものか、メガネを使わないと見にくいということがいかに不利なことか初めて気が付きました。若い時からメガネをかけて暮らしている方はいかに損か、不合理か初めて気が付いたわけです。当時まだ屈折矯正手術は社会的認知度が低く、白い目で見られていたと言っても過言ではありません。一つには（特に日本で）眼科医がこの手術の研究に手を出すのが遅かったこと、その間に眼科学の基礎的知識をあまり持っていない医師が安易に多数の手術を行ってしまい、事故が多発したということもあります。

ようやく合併症の少ない手術方法が研究され、実施されるようになってきた頃（1990年代の初め）、そしてエキシマレーザーによる屈折矯正手術が始まった頃、私はアメリカ、ヨーロッパの著名な先生方を訪ねて勉強しました。当時はRK（メスを使う手術）もたくさん行われており、RKとPRK（エキシマレーザーによる手術）のどちらが良いかという議論や、開発途中のマイクロケラトームを使うLASIK（レーシック）も始まっていました。国内でもいち早くエキシマレーザーを個人輸入された先生がおられ、そこでは精力的な研究もおこなわれていました。私はあるときは患者さんと共にその先生を訪ね、手術をしていただいたり、させていただいたりしました。

多くの研究や努力のおかげで2000年秋日本でもエキシマレーザーによるPRKが認可されました。当院は1996年7月に手術施設としての小田原クリニックを新築開業していましたが、設計段階からエキシマレーザーの部屋を作っており、待つこと4年、認可の報を聞き、2000年5月にNIDEK社製EC5000を購入、10月から手術を始めました。この手術は当院にとって初めての手術なので、システムの立ち上げにはとても多くの努力と時間を費やしました。まずは手術を始めることの広告、宣伝、集まった手術希望者への説明、モニターの募集と決定、適応検査、そして実際の手術の際のそれぞれの持ち場ごとの手順の確認など、初めての経験を皆エネルギーッシュにこなしました。NIDEK社をはじめとする関係各社の方々のご助力も大変ありがたく忘れられません。

NIDEK社製EC5000は大変安定した機械で、切除面がきれいであることは言うまでもなく、術後成績は大変良く、この11年間で1300名余りの方の手術をいたしました。大変良い成績で皆様に喜ばれました。

ところで、秋にヨーロッパで開催されるESCRS（ヨーロッパ眼内レンズ屈折矯正手術学会）に私は毎年参加してきましたが、数年前から気になって情報を集めていた技術があり

ます。それはフェムトセカンドレーザーによる屈折矯正手術です。フェムトセカンドレーザーはLASIKの時に作るフラップをマイクロケラトームに代わってより正確に安全に作るという技術で知られていますが、私が注目していたのは、フラップを作るだけでなく、エキシマレーザーで蒸散させるべき角膜の組織をフェムトセカンドレーザーで切り出すという技術です。つまりエキシマレーザーを使わず、フェムトセカンドレーザーのみで行う屈折矯正手術です。2年ほど前からその精度が上がり、成績が良くなったのがわかり、去年のESCRSで確認のうえ、Zeiss社製VisuMaxを思い切って購入することにしました。今年の4月からエキシマレーザーよりもより侵襲の少ない屈折矯正手術ができることを期待しています。しかしこの機械はまだ遠視や混合乱視などの矯正はできないので、それらの矯正をするためにはやはりエキシマレーザーの助けを借りることになります。そこで選んだエキシマレーザーはAbbott社のVISXです。この機械はカスタム、ウェイブフロントLASIKという技術で目全体の収差を目標に矯正することができます。今年の大きな楽しみの一つはこのVisuMaxとVISXの立ち上げ、それに伴う、今までとは違った屈折矯正手術システムの立ち上げです。また職員一丸となって工夫を凝らし、この素晴らしい機械達の実力を最大限に引き出すシステムを作り上げてゆきたいと思います。

メガネをかけない生活を目指す屈折矯正手術もまだ老眼に対する切り札は確立していない状態です。そのため残念ながら私はまだメガネをかけています。しかし一つの可能性が白内障手術の中にあります。屈折矯正のテクニックが進歩するにつれて、白内障手術においても屈折矯正を考慮した手術が進歩してきました。単に見えればよいのではなく、できれば裸眼で生活できるようにという思いが、術者の間にも浸透してきたことが、乱視矯正、老視矯正を目指す眼内レンズの進歩につながったと思われます。私は1990年代半ばに発売された屈折型多焦点眼内レンズ（アレー）をいち早く取り入れ、特に若い年代で白内障手術を受けなければならなくなった患者さんに大変喜ばれました。また、ヨーロッパで製造されている乱視用眼内レンズは見事に強度の乱視も矯正することがわかりました。また角膜に浅く切開を入れるLRIという手法も多用するようになりました。日本で多焦点眼内レンズが認可されたのは2007年だったかと思います。残念ながら保険収載されていないために手術料金が高く、限られた患者さんのみにしか適用できないのですが、大変良い成績で喜ばれています。最近ドイツから輸入できるようになった乱視も組み込んだ多焦点眼内レンズを今度採用してみたいと思ってそれも今年のお楽しみにしています。

より良いものを求める私たちの気持ちが機械やそれを使う技術を進歩させ、達成されるものが大きければ大きいほどさらにより良いものが求められる、このとても幸せな連鎖が続いてゆくことを願わずにはいられません。世の中の平穏と無事とがその大きな要因となることを思い、今年がそのような幸運に恵まれる年となるように願っています。

学会・勉強会

1月23日	トラベクトーム講習会（東京）安藤浩
1月28日～30日	日本眼科手術学会総会（京都）安藤浩 安藤展代 江口亮 木村智嘉
2月4日	ジクアス点眼液勉強会 参天製薬 古屋様
2月17日～19日	角膜カンファランス(東京) 高木智恵子 石川暢子
3月5日	シラス HD-OCT ユーザーセミナー（東京） 安藤展代 江口亮 高木智恵子 石川暢子 井上拓己 木村智嘉 須貝剛 杉山和香奈 倉林あゆみ 志村舞 十文字恵 野村桃子
3月9日	池田眼科 池田昌彦先生 手術見学
5月12日～15日	日本眼科学会総会（東京）安藤浩 安藤展代 江口亮 高木智恵子 石川暢子
5月27日	ベータの会 安藤展代
6月16日	ルミネはたの眼科見学 井上拓己、木村智嘉
6月17日～19日	日本眼内レンズ屈折手術学会総会（福岡）安藤浩 安藤展代 江口亮
7月1日	デュオトラバ勉強会 日本アルコン 鈴木様
8月4日	CAOSの会（大阪 福島アイクリニック） 安藤浩 高木智恵子
8月5日	CAOSの会（京都 千原眼科）安藤浩
8月6日	CAOSの会（京都 ホテルグランヴィア京都） 安藤浩 江口亮
8月12日	ファイザー勉強会 ファイザー 本間様
8月19日	コソプト勉強会 MSD 中筋様
8月31日～9月29日	ESCRS（ウィーン） 安藤展代
9月1日	医療機器販売管理者継続研修 安藤浩
10月3日	社会保険診療懇話会 安藤浩
10月7日～10日	日本臨床眼科学会（東京）安藤浩 安藤展代 江口亮 高木智恵子 石川暢子
10月10日	医療機器販売管理者継続研修 安藤展代
10月15日	神奈川県眼科医会健保懇話会 安藤浩 加藤晃仁
10月21日	医療安全管理研修 『ひと目でわかる感染対策』 千寿製薬 吉柴様
11月18日	ベータの会 安藤展代
11月28日	横浜市立大学 門之園一明教授 硝子体手術
12月2日	Visx 勉強会 エイエムオージャパン 守山様
12月4日	Oculentis 社講習会 安藤展代
12月16日	フェムトセカンドレーザー勉強会 カールツァイス 小澤様
12月22日（予定）	横浜市立大学 門之園一明教授 硝子体手術

医師会・眼科医会

1月8日	足柄上医師会新年会 『報徳会館』にて 安藤展代 江口亮
3月4日	第6回 YOKOHAMA 病診連携の会 安藤展代
4月13日	中井中学校 学校検診 江口亮
4月19日	神奈川県医師会（関内）安藤浩
4月20日	中村小学校 学校健診 江口亮
4月27日	吉田島総合高校 学校健診 江口亮
5月9日	大井小学校 学校健診 高木智恵子
5月11日	大井小学校 学校健診 高木智恵子
5月16日	大井高校 学校健診 安藤浩
5月17日	上大井小学校 学校健診 石川暢子
5月17日	東海大学眼科病診連携世話人会 安藤浩
5月18日	井ノ口小学校 学校健診 江口亮
5月23日	松田第1・第2幼稚園 学校健診 安藤浩
5月24日	湘光中学校 学校健診 石川暢子
5月30日	松田中学校 学校健診 安藤浩
5月31日	湘光中学校 学校健診 石川暢子
6月1日	相和幼稚園・小学校 学校健診 高木智恵子
6月6日	寄幼稚園・小・中学校 学校健診 安藤浩
6月7日	上大井小学校 学校健診 石川暢子
6月8日	山北高校 学校健診 江口亮
6月13日	大井第2幼稚園 学校健診 高木智恵子
6月14日	大井幼稚園 学校健診 石川暢子
6月16日	足柄上病院懇談会 安藤浩
6月20日	松田小学校 学校健診 安藤浩
6月27日	ポリオ予防接種 安藤浩
11月1日	松田町就学時健診 石川暢子
11月3日	眼科休日診療（小田原市休日救急診療所） 安藤展代
11月6日	足柄上医師会旅行 安藤浩
11月24日	大井町就学時健診 高木智恵子
12月15日	ポリオ予防接種（健康福祉センター） 安藤浩

改装・修理

4月15日	計画停電対策 松田発電機搬入
7月1日	計画停電対策 松田発電機搬入
8月8日・9月5日	手術室無停電装置バッテリー交換

新設器械

今年度 新設器械なし

2011年に行われた手術（眼数）

保険診療分合計	2104
内眼手術	1775
水晶体再建術	1685
緑内障手術	64
硝子体手術	6
外眼手術	329
翼状片手術	59
眼瞼手術	87
霰粒腫手術	25
涙道	0
PTK	9
LRI	22
ケナコルト	104
その他外眼	23
自由診療分合計	320
ICL	3
フェイキック IOL	0
LASIK	260
PRK	2
エンハンス	3
自由診療（水晶体再建術内数）	52
総合計	2372
硝子体内注射	55
マクジェン	0
ルセンチス	41
アバスチン	14

2011年皆勤賞 無遅刻・無欠勤・無早退の方々です。拍手！

北村 幸子 金田 浩子 甲斐 智美 小寺 弥生 加藤 明子 高橋 京子
木村 智嘉 鈴木 雅美 田中 智美 関 麻子

ひとみすっきり号(無料送迎車)の動き

利用期間	延べ患者様数	月平均
平成 15 年 9 月 15 日～平成 16 年 12 月 31 日	1,871 人	117 人
平成 17 年 1 月 5 日～12 月 31 日	1,675 人	141 人
平成 18 年 1 月 4 日～12 月 31 日	2,225 人	185 人
平成 19 年 1 月 9 日～12 月 31 日	2,559 人	213 人
平成 20 年 1 月 4 日～12 月 31 日	2,461 人	205 人
平成 21 年 1 月～12 月 31 日	2,172 人	181 人
平成 22 年 1 月～12 月	1,573 人	131 人
平成 23 年 1 月～12 月(予定者含む)	2,122 人	177 人

主な送迎場所

- ・安藤眼科医院～安藤眼科医院小田原クリニック
- ・足柄上郡松田町寄地区
- ・足柄上郡山北町中川地区・清水地区
- ほか小田原市・松田町・山北町・大井町・開成町・中井町全域
- ・訪問診療 年間 27 件

入職者 がんばって下さい。

中村久美子さん(事務)

平成 23 年 10 月 17 日入職

菊原美和子さん(事務)

平成 23 年 11 月 1 日入職

退職者 ごくろう様でした。

相樂 賀子さん

平成 23 年 3 月 12 日退職

辻 恵子さん

平成 23 年 10 月 31 日退職

結婚おめでとう！

榎本和美さん(旧姓 柳下)

津川夕子さん(旧姓 吉澤)

小泉琴代さん(旧姓 川畑)

山口いづみさん(旧姓 岡部)

出産おめでとう！

安藤 帆乃風さん（平成 23 年 3 月 1 日生 安藤 浩先生 長女）

今年もまた楽しみ！

- ①安藤眼科医院南足柄クリニック開業
- ②CARL ZEISS 社 VISUMAX による ReLEx を始める
- ③AMO 社 VISX によるカスタム LASIK を始める
- ④オプトスによる画期的眼底撮影を始める

スタッフ

常勤医： 安藤展代 安藤 浩 江口 亮 高木智恵子 石川暢子
看護師： 井上拓己 北村幸子 金田浩子 甲斐智美 伊東淳子 榎本和美
松山さやか 香川奈美子 田中智美
臨床検査技師： 木村智嘉 志村 舞 須貝 剛 十文字 恵 小林香澄 野村桃子
視能訓練士： 杉山和香奈 倉林あゆみ
検査看護補助： 鈴木智子 高橋京子 近藤景子 山川久美子 分部 愛 岡田真由子
事務： 加藤晃仁 小泉琴代 小寺弥生 加藤明子 野地真弓 野崎友希
飯山百合子 小林里奈 波多野麻里亜 岡部いづみ 津川夕子
宮下千加子 関絵理子 鈴木雅美 原 弘恵 矢口弥生
福島 綾 山村明子 関 麻子 齋藤明奈 安達幸子
ドライバー： 丹野文義 平塚勝巳
研修中： 中村久美子 菊原美和子